

校番	095	○	ホームルーム活動		生徒会活動		学校行事	別紙様式2
----	-----	---	----------	--	-------	--	------	-------

令和3年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	広島県立福山商業高等学校	校長	神田 浩二	生徒指導主事	高森 太志
取組事例名		『学校に貢献する卒業制作』			
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「協調性・協働する力」	2	「課題発見・解決力」	3	「自己決定・表現力」	1
取組のねらい					
<p>クラスで活動する場面を設定し、自己決定の場を与え、他者との協働することでより良い人間関係を築き、高校生活の思い出にしていきたい。</p>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『キーワード 貢献』		
<p>3年生の総合的な探究の時間を使って、クラス内でグループに分かれて企画書を作成し、プレゼンテーションを行い、各クラスで卒業制作の内容を決めて作成した。</p> <p>○福山商業のマスコットキャラクターの作成</p> <p>福山商業では日頃から“笑”という漢字を使っていることに着目して、大笑(たいしょう)くんと富駆芦(ふくろう)ちゃんというキャラクターを考案した。また、木を加工して色を塗り、移動式のパネルを作成した。</p>			<p>クラスに貢献して卒業制作を作ることが学校に貢献することにつながるという意識を持つことができた。</p> <p>自分の役割に責任を持ち、他者と協力して作業を行う姿が見られた。担任としても生徒を褒める機会が増え、クラスとして良い雰囲気を作ることができた。</p>		
<p>○購買の改善案の作成</p> <p>昼休憩の時間にパン販売を行っている会社と連携して、看板やメニュー表、金庫などを作成した。問題点を改善するためにパン販売の場所を変更し、内装や動線を工夫することでコロナ対策を行う案を考えた。</p>					
  					
取組の成果と課題					
<p>今年度から新しい取り組みを行うということで実施するに前は本当にできるのか、というマイナスな意見が多かった。実際に企画書を作成し、プレゼンをしていく中で生徒たちの自主的に生き生きと活動する姿をたくさん見ることができた。今年度は11月頃から取り組みを始めたので、企画の発案やプレゼンの準備の時間が少なく3学期に入ってから本格的に作業が始まった。来年度は年間のスケジュールを立てて、余裕を持って実施できるように検討していきたい。</p>					